

磐城時報

第十日刊
第九日刊

福島縣石城郡平町福屋町十四
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
印刷 加納活版所
電話 三一四
一ヶ月金五拾圓
三ヶ月金一拾圓
半年金一拾八圓
一年金三拾圓
廣告料一行十四字計金五拾圓
△日刊(日曜、祭日)休刊

自動車協會總會

けふ平第三小學校に開催

関係者五百名参集

福島縣自動車協會第四回總會は七、營業許可權確保の件十九日午前十時から平町第三小學校に開催、小林保安課長開會の挨拶をのべ、中里警察部長告辭をなし、優良運轉手に金一封を添え表彰し、注意、協議、報告、建議事項等の議事を終え、來賓の祝辭、受賞者總代の答辭あり、午後二時閉會した。議案次の如くである。

▲注意事項
一、自動車營業者の連絡協同に關する件
二、事故防止に關する件
三、定期運行遵守の件
四、貨物自動車客乗禁止の件
▲協議事項
一、ガソリン共同購入の方法
二、交通事故防止の座談會開催の件
▲報告事項
一、建議事項の履行状況の件
▲建議事項
一、貨物自動車貨金統一の件
二、自動車の鐵道事故防止に關し鐵道局に陳情の件
三、栃木縣古峯ヶ原方面營業者に對する排他的行動停止方法に關する件
四、交通事故防止宣傳の件
五、新路線及營業權の許可の場合約は所屬支部の協賛を要する制度を採らるるやう知事に申請する件
六、自動車減税の件

福島縣自動車協會第四回總會は七、營業許可權確保の件十九日午前十時から平町第三小學校に開催、小林保安課長開會の挨拶をのべ、中里警察部長告辭をなし、優良運轉手に金一封を添え表彰し、注意、協議、報告、建議事項等の議事を終え、來賓の祝辭、受賞者總代の答辭あり、午後二時閉會した。議案次の如くである。

一、自動車營業許可權確保の件
二、新營業者加入金の一部を支部に割戻の件
三、縣協會に常任幹事及調停委員設置の件
四、街角の電柱移轉整理の件
五、他府縣貨物自動車縣内滞留者取締の件
六、貨切自動車料金變更の件
七、縣協會役員會出席旅費を縣協會より支辨する規定制定の件
八、貨物列車前面照燈強光化するやう鐵道省に陳情の件
九、縣協會主催となり各方面に於て貨金協定協議會を開催の件
十、狹隘屈曲路傍より電柱撤去方請願の件
十一、運轉競技會開催の件
十二、鐵道踏切は鐵道下を通行するやう道路改修方其筋に請願するの件
十三、道路工夫表彰方の件
十四、自動車營業者並に取締官に對し無償バス設定の件
十五、各營業者間はガソリン元價を以て補給の件

▲表彰者
福島市渡邊良助(二二)同戶田吉邦(三八)同白井巖(二八)同秋山登(二二)信夫郡齋藤順吾(三〇)飯坂町菅野貞藏(二二)藤田町佐藤吉四郎(二六)保原町小野登(二二)梁川町本間五兵衛(三四)川俣町高野重三(三七)小濱町伊藤勝二(三二)二本松町伊藤次右衛門(二六)本宮町長谷川敬吉(三三)郡山市高橋鶴松(二七)同桑原喜八(二二)同森下孫次(二七)長沼町大和田匡康(二八)同田友治(二四)北會津町小島新壽(二三)若松市森重雄(二七)東山村磯貝進浦(二七)若松市酒井宗徳(二八)田島町折藤一好(二五)楡原村佐川周作(二五)喜多方町横山茂清(二二)同澤喜方町横山茂清(二二)同澤芳衛(二四)安積郡渡邊權

▲表彰者
章並に金一封を添え茲に之を表彰す
福島縣自動車協會會長

▲表彰者
福島市渡邊良助(二二)同戶田吉邦(三八)同白井巖(二八)同秋山登(二二)信夫郡齋藤順吾(三〇)飯坂町菅野貞藏(二二)藤田町佐藤吉四郎(二六)保原町小野登(二二)梁川町本間五兵衛(三四)川俣町高野重三(三七)小濱町伊藤勝二(三二)二本松町伊藤次右衛門(二六)本宮町長谷川敬吉(三三)郡山市高橋鶴松(二七)同桑原喜八(二二)同森下孫次(二七)長沼町大和田匡康(二八)同田友治(二四)北會津町小島新壽(二三)若松市森重雄(二七)東山村磯貝進浦(二七)若松市酒井宗徳(二八)田島町折藤一好(二五)楡原村佐川周作(二五)喜多方町横山茂清(二二)同澤喜方町横山茂清(二二)同澤芳衛(二四)安積郡渡邊權

協會長から表彰された 光榮の運轉手五十名

平素品行方正にして業務に精勵し亦能く交通安全の完きを期する等その事績は洵に顯著にして一般の模範たり仍て微

小川江の開鑿者勝翁の銅像

工費一千八百圓で竣工

石城郡磐城小川江筋普通水利組合では江筋の開鑿者澤村勸兵衛勝翁が江筋を開鑿する決意をなすに當り敬請の擧げた功績を保持する草野村大字泉崎光明寺(慶安四年の住職)勸順僧の銅像建立を計劃し工費一千八百圓を投じ光明寺内に工事を急いでたが、竣工したので近く盛大な除幕式を舉行する筈である。

銅像と共に頌徳碑を建立する筈で碑文には勝翁を激勵した勸順僧の歌が書いてある。

澤村勝翁は慶安四年三月泉崎地方が水利の便が悪く農民が非常に困つてゐる實状に同情し勸順僧に
名に似ぬ泉崎にて水に飢え質らぬ村の寺の淋しきといふ歌を興へた處勸順僧は

櫻の枝を折る

法華行者平署に檢舉

双葉郡富岡町法華行者猪狩喜四郎(六)は十九日午前十時頃平町新川畔の櫻の枝を折つてゐる處を平署員に見られ嚴重説諭の上放逐された。

小學校教員試験

小學校教員檢定試験は十九日から五日間平第一小學校で執行するが

中學四年生奇禍

化學實驗時間中の椿事

磐城中學四年生志賀某(十六)は化學實驗の時間中燐を持ち出し授業時間弄んでゐるうち發火したので驚いて投げた處前列の虫本正(十六)の頭の上に落ち虫本は頭部に火傷を負つた。

警察部長は縣下自動車協會總會に出席のため十八日來郡湯本町松柏館に一泊十九日は平町住吉屋本店に投宿する筈である。

探してゐた娘は 酌婦になつてゐた

親が誘拐者を告訴

郡山市鶴見町遠藤トメ(四四)長女フク(十八)は一昨年八月内郷村大字内町栗原源太郎(四八)方のそば出前持ちになる約束で一ヶ月三圓の給料を五十圓だけ前借して往込んだが、その後行衛不明となつたので調査した處茨城縣東茨城郡常磐村人事周旅業平野定造の手で盞釜町明演町飲食店菅原源吉方に酌婦をしてゐる事が判つたので十九日實母トメは平警察署を訪れ誘拐者を告訴した。

久留島氏講演

久留島武彦氏は十八日來郡十九日第三小學校、第二小學校その他で講演を行った。

老人の死体

永戸村大字合戸地内に乞食風体の男が行倒れてゐるのを發見平署から佐々木部長出張檢視したこの男は富山縣上仁川郡上瀧町生れ田部重次郎(七四)と言ひ引取人がないため村役場で假埋葬に付した。

平町附近 衛生掃除日割

平警察署管内衛生掃除日割は十八日衛生研究會を開いて左の如く決定した。

▲四月二十四日福島炭礦▲二十六日高久村▲二十七日日野

開店の御挨拶

福島貯蓄銀行は福島縣が大株式主となり眞の庶民金融機關として最も簡便に貯金の機會を得て實行し得る様各地に代理店を設置し着々よき成績を擧げてをります。我平町は海岸地方に於ける經濟界の中心地にして往年各位の御引立を蒙り相當の實績を見たので今般大藏大臣の認可を得まして左記の處へ福島貯蓄銀行平支店を新設して四月十四日より開業致しました。

何卒多少に拘らず御引立の程を願上ります。

平町田町壹番地

株式會社 福島貯蓄銀行平支店

電話三〇八番

貸切御用命

ゼヒ 三井自動車部へ

電話六八五番

乗合は 好間合戸・澤渡方面行

和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店

諸橋久太郎

電話九九九番

外科 一般外科 内臓外科

性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)

安齊外科醫院

元赤心堂病院跡

電話四七五

坊やおち



ドライは(粉ミルク)

吾が育児界に誇り得る唯一の國産粉未牛乳で如何に眞夏と雖、長期の保存に堪へお湯さへ加へれば純良、濃厚な色、味香共に勝れし母乳と同じ榮養價の新鮮牛乳を得られます。

- 半ポンド 九〇
- 一ポンド 一七〇
- 三ポンド 五〇〇

森 ドライミルク

四季を通じて完全母乳代用品

地方代理店 關内藥局

電話四〇番

家傳腫物湯

のんで効く 腫れ物の妙薬

主一●面疔●よう●乳の腫れ●指のはれ●林巴腺の腫れ●耳鼻のおでき●骨膜炎●筋炎●はれ物手術の前夜効一等よし

●特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き痕を残さず美容上最適の治療劑なり

- 定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢
- 特約店 平町四丁目 小野藥店 四ツ倉町 荒川藥店
植田町 松本藥店 富岡町 莊野藥店
湯本町 岩瀬屋藥店

腫物湯 製劑所 茨城縣下孫 磯野健生堂

内科 小兒科 (入院應需)

藤沼醫院

花柳病科

平町紺屋町 電話平園五〇七番

最新式電氣應用 晝夜攝影 寫真館

博覽會期中 特別割引致シマス

(前驛) 町田町平

外科 花柳病科 專門

平町六丁目橋際 木村外科醫院 電話三〇九番

學生靴 特賣

安い...大塚の靴

關稅引上げの爲め靴原料意外に暴騰なれど弊店にては前値品多數用意いたし當分値上げ致しません

絶好の御買の時...は今 平町 大塚支店製靴部 電話七七番

謝恩開店三週年披露

本日より謝恩的値段を以て御禮に替ひます。

- カツライズ 十五錢 カレイライズ 十錢
- チキンライズ 二十錢 肉井特製 十錢
- 上酒 一本 二十錢

出前 四倉町本町 迅速 武田バ 電話三二番 (女給さん數名入用)

難波醫院

内科 醫學博士 難波 睦 平町大町新川端 電話(五〇二番)